

平成26年度

事業報告書



ふれあいネットワーク

平成27年4月

社会福祉法人

江津市社会福祉協議会

目 次

I. 概 要	1 頁
II. 事業実施報告	2～21 頁
1. 地域福祉を担う人づくり	
(1) 福祉教育の推進と地域福祉の意識づくり	
①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）	2 頁
②あいサポート運動の推進	2 頁
③江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）	3 頁
④福祉ふれあいチャリティーバザーの開催	3 頁
⑤児童福祉月間PR用ポスター掲示事業（共同募金助成事業）	3 頁
(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援	
①ボランティアセンター事業	4 頁
②障がい者支援ボランティア養成事業	4 頁
③民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）	5 頁
2. 地域福祉を展開する地域づくり	
(1) 地域福祉活動の体制づくり	
①民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）【再掲】	5 頁
②社協地区支会との連携強化と活動の活性化[地区支会活動助成(共同募金助成事業)]	5 頁
③市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）	5 頁
④しまね流自治会区福祉活動の推進	6 頁
⑤高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	6 頁
⑥子育てサロン事業、子育てサロン広報活動事業（共同募金助成事業）	7 頁
⑦福祉委員制度の見直し	7 頁
(2) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり	
①災害ボランティアセンターの体制整備	8 頁
②災害ボランティアコーディネーターの育成・養成	9 頁
③高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【再掲】	9 頁
④ひまわり大作戦事業	9 頁
3. 地域福祉を支える体制づくり	
(1) サービスの提供体制づくり	
①放課後児童クラブ事業	10 頁
②子育てサロン事業、子育てサロン広報活動事業（共同募金助成事業）【再掲】	10 頁
③子どもの遊び場設置管理事業	10 頁
④福祉バンク事業（福祉用具貸出事業）	10 頁
⑤高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【再掲】	10 頁

⑥生活支援まごころフレッシュサービス事業	11頁
⑦地域住民グループ支援事業	11頁
⑧江津和光園大学ふれあい教室の開催（共同募金助成事業）	12頁
⑨歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）	12頁
⑩骨髄バンク基金事業	12頁
⑪福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）	13頁
⑫生活福祉資金貸付事業	13頁
⑬民生基金貸付事業	14頁
⑭生活困窮者自立支援サービスの検討・開発	14頁
(2) 相談体制の充実	
①ふれあい福祉センター総合相談事業	15頁
(3) 情報提供体制の充実	
①広報紙の発行およびホームページの更新	15頁
②障がい者支援ボランティア養成事業【再掲】	15頁
(4) 権利擁護の推進	
①日常生活自立支援事業	16頁
②法人後見受任事業	16頁
(5) 地域における就労支援	
①民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）【再掲】	17頁
(6) 地域福祉に関する基盤整備	
①社協地区支会との連携強化と活動の活性化[地区支会活動助成(共同募金助成事業)]【再掲】	17頁
②民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）【再掲】	17頁
③社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）	17頁
④江津駅前公共公益複合施設への事務所移転についての検討	17頁
⑤本市社協の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）	18頁
⑥法人運営事業	18頁
⑦研修会等への参加	19頁
(7) 団体事務の受託	
①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）	20頁
②江津市老人クラブ連合会（団体事務の受託）	20頁
③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）	21頁
④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託）	21頁

平成26年度事業報告

【I】概要

少子高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って地域社会や家庭の様相は大きく変化し、孤立死や自死、ひきこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得者の問題、虐待や悪質商法など権利擁護の問題など、地域における生活課題は深刻化し、広がっています。

本協議会では、「第2次江津市地域福祉活動計画」に掲げる基本理念及び基本目標等の達成と「しまね流社協・生活支援活動強化方針実践プラン」を着実に実践する取り組みを進めて参りました。基本目標等の実現に向け、社協支会をはじめとする各種福祉団体等との連携、協働により諸事業を実施し、概ねその目標を達成しましたが、十分な成果が得られなかった事業もあり、次年度以降の課題となりました。

今年度重点的に取り組んだ事項は次のとおりです。

『地域福祉を担う人づくり』については、平成25年8月末に本市を襲った豪雨災害時に設置した「江津市災害ボランティアセンター」での被災者への生活復興支援活動の貴重な経験を生かすため、島根県社協との共催による「災害ボランティア運営研修会」を開催し、住民の主体的な取り組みによるボランティア・防災活動を推進する人づくりを目指した研修会を行いました。

『地域福祉を展開する地域づくり』については、各地域における福祉委員活動の現状把握やその役割について話し合う「福祉委員あり方検討会」を開催しました。民生委員・児童委員、社協支会と連携・協働した見守り活動等の担い手となり、地域の福祉力向上につながる体制づくりを目指しましたが、次年度以降の検討課題となりました。

『地域福祉を支える体制づくり』については、生活困窮の状態に陥った方の自立に向けて、「緊急小口資金」、「緊急食糧支援」、「入居債務保証支援事業」などの福祉サービスを充実したことにより、総合相談・生活支援体制の強化に取り組みました。また、判断能力の十分でない人の権利を擁護するため、法人後見受任事業や日常生活自立支援事業の実施にあたり、専門的な知識を有した者で構成する「権利擁護推進委員会」を立ち上げ、適正な事業運営や地域における権利擁護のあり方が検討できる体制づくりに努めました。

『本協議会の内部体制づくり』については、生活困窮者自立支援事業に対応するため、本協議会の組織体制を見直し、総合的な相談支援が図られるよう体制整備や、事業開始に向けた準備に取り組みました。また、将来、ボランティアセンターや生活支援相談センターなどの事業が一層充実できるよう、本協議会の新たな事務所の江津駅前公共公益複合施設移転について、円滑な入居を進めるため、市行政との協議を行いました。

地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、その解決につなげる支援や仕組みの体制づくりに努めて参りました。

具体的事業について以下のとおり報告いたします。

事業名	③江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）
事業内容	○社会福祉関係者や一般住民が一堂に会する大会を開催し、多年にわたり社会福祉に貢献された方々を表彰するとともに、実践発表等を通じて、より一層の福祉意識の醸成を図る。 ○江津市総合社会福祉大会運営委員会の開催（大会内容等の検討） ○江津市総合社会福祉大会表彰審査委員会の開催（被表彰者候補者の審査）
対象者	江津市社会福祉関係者並びに住民全般
成果等	○次のとおり開催し、地域福祉の意識向上を図り、「福祉のまちづくり」を推進した。 (1)開催日 平成26年11月6日 (2)大会参加者 約450名 (3)平成26年度表彰状授与者17名、感謝状授与5名、3団体 (4)地域福祉活動実践発表、少年の主張江津市大会出場者の意見発表を聞き、福祉意識の醸成を図った。 ア. 福祉実践発表 群読劇『クスの葉風』 石見国くにびき18座 イ. 少年の主張意見発表市内4中学校代表 4名
備考	

事業名	④福祉ふれあいチャリティーバザーの開催										
事業内容	○市民の皆様にご提供いただいた品物を販売し、その収益金により市内の福祉事業の推進を図ることを目的として開催。（収益金は共同募金として取り扱う） ○福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会の開催（運営方法等について検討）										
対象者	住民全般										
成果等	平成26年度実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>開催日時</td> <td>平成26年12月7日（日）9:30～14:00</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>江津市総合市民センター</td> </tr> <tr> <td>抛出点数</td> <td>6,756点（前年度比1,079点増）</td> </tr> <tr> <td>収益</td> <td>797,227円（前年度比165,630円増） 内訳 純益金730,227円、寄付金67,000円</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>532名（前年度比97名増）※乳幼児の数は含まない</td> </tr> </table>	開催日時	平成26年12月7日（日）9:30～14:00	会場	江津市総合市民センター	抛出点数	6,756点（前年度比1,079点増）	収益	797,227円（前年度比165,630円増） 内訳 純益金730,227円、寄付金67,000円	来場者数	532名（前年度比97名増）※乳幼児の数は含まない
開催日時	平成26年12月7日（日）9:30～14:00										
会場	江津市総合市民センター										
抛出点数	6,756点（前年度比1,079点増）										
収益	797,227円（前年度比165,630円増） 内訳 純益金730,227円、寄付金67,000円										
来場者数	532名（前年度比97名増）※乳幼児の数は含まない										
備考	・昨年同様、余芸大会の開催日と別日に実施（バザー当日、ホールにてピアノ教室発表会） ・早めに協力依頼を行い、抛出点数の増に務めた。 ・昨年に比べ、値付け額を上げた。										

事業名	⑤児童福祉月間PR用ポスター掲示事業（共同募金助成事業）
事業内容	児童福祉月間にあわせ、ポスターを購入し、「子どもの権利の尊重」等、児童福祉についてPRする。
対象者	住民全般
成果等	5月に公共施設等25か所にポスターを掲示し、児童福祉についてPR。
備考	

1. 地域福祉を担う人づくり

(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援

事業名	①ボランティアセンター事業																																																
事業内容	<p>ボランティアを求めている個人や施設・団体とボランティア活動を希望する人やグループを結びつける等、ボランティア活動を推進する機関であり、概ね以下の活動を行う。</p> <p>(1) ボランティア相談（登録、斡旋、連絡調整）</p> <p>(2) 情報提供</p> <p>(3) 各種出前講座（講習会）開催、指導（車椅子、アイマスク、高齢者の日常動作の疑似体験指導等）</p> <p>(4) 障がい者支援ボランティアの養成・育成【1-(2)-②参照】</p> <p>(5) ボランティア研修会・講演会の開催</p> <p>(6) 活動基盤充実（ボランティア保険加入促進）</p> <p>(7) 生活支援まごころフレッシュサービス事業【3-(1)-⑥参照】</p> <p>(8) 歳末声かけボランティア事業【3-(1)-⑨参照】</p> <p>(9) ボランティア団体連絡会の開催</p> <p>(10) ボランティアセンターの運営評価（ボランティアセンターの運営委員会の開催）</p>																																																
対象者	住民全般並びに児童、生徒、学生																																																
成果等	<p>○登録者</p> <table border="1"> <tr> <td>個</td> <td>人</td> <td>23名</td> <td>(前年度比±0名)</td> </tr> <tr> <td>団</td> <td>体</td> <td>64団体</td> <td>(前年度比±0体)</td> </tr> <tr> <td>団</td> <td>体</td> <td>構成</td> <td>員</td> <td>1,446名</td> <td>(前年度比9名増)</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>間</td> <td>延</td> <td>べ</td> <td>活動</td> <td>人数</td> <td>7,484名</td> <td>(前年度比616名減)</td> </tr> </table> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月1日に発行していたボランティア情報紙については、H27年4月より市社協広報紙との合併号として特集記事を掲載し、ボランティアセンター活動やボランティア団体等の情報を発信した。 <p>○出前講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>対象者</th> <th>参加者</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/20</td> <td>桜江中1年生</td> <td>22名</td> <td>高齢者疑似体験、車椅子体験、社会福祉協議会の地域福祉活動</td> </tr> <tr> <td>5/29</td> <td>渡津小5年生</td> <td>19名</td> <td>高齢者疑似体験</td> </tr> <tr> <td>10/7</td> <td>渡津小3年生</td> <td>15名</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>10/9</td> <td>江津中1年生</td> <td>75名</td> <td>車椅子体験、高齢者疑似体験</td> </tr> <tr> <td>12/9</td> <td>桜江小5年生</td> <td>22名</td> <td>車椅子体験</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ボランティア講演会（平成27年2月23日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 一般市民 700名 ・内 容 「がんばらない」けど「あきらめない」 ～命を支えるということ～ 講師：医師・作家 鎌田 實 先生 			個	人	23名	(前年度比±0名)	団	体	64団体	(前年度比±0体)	団	体	構成	員	1,446名	(前年度比9名増)	年	間	延	べ	活動	人数	7,484名	(前年度比616名減)	期日	対象者	参加者	内 容	5/20	桜江中1年生	22名	高齢者疑似体験、車椅子体験、社会福祉協議会の地域福祉活動	5/29	渡津小5年生	19名	高齢者疑似体験	10/7	渡津小3年生	15名	アイマスク体験	10/9	江津中1年生	75名	車椅子体験、高齢者疑似体験	12/9	桜江小5年生	22名	車椅子体験
個	人	23名	(前年度比±0名)																																														
団	体	64団体	(前年度比±0体)																																														
団	体	構成	員	1,446名	(前年度比9名増)																																												
年	間	延	べ	活動	人数	7,484名	(前年度比616名減)																																										
期日	対象者	参加者	内 容																																														
5/20	桜江中1年生	22名	高齢者疑似体験、車椅子体験、社会福祉協議会の地域福祉活動																																														
5/29	渡津小5年生	19名	高齢者疑似体験																																														
10/7	渡津小3年生	15名	アイマスク体験																																														
10/9	江津中1年生	75名	車椅子体験、高齢者疑似体験																																														
12/9	桜江小5年生	22名	車椅子体験																																														
備考																																																	

事業名	②障がい者支援ボランティア養成事業		
事業内容	<p>○手話奉仕員の養成</p> <p>一般市民より希望者を募り、ろう者が日常使っている言葉である手話を習得し、手話奉仕員として活動できることを目的として実施する。</p>		
対象者	住民全般		
成果等	<p>○手話通訳登録者レベルアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 10回 ・受講者 10名 ・延べ受講者数 80名 		
備考			

事業名	③民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）
事業内容	○中高年齢者グループによる健康・生きがいきづくり、地域づくりに寄与する事業・活動の立ち上げ又は拡充に対し、県社協が助成することにより、活力ある地域社会づくりを促進しようとするものである。本会は募集・申請・活動の助言を行い、地域の活性化を図る。 ○事業区分は2つあり、いずれも健康づくり、生きがいきづくり、地域づくりに寄与することを旨とした事業 （1）生産、加工又はサービス提供を行う事業（夢ファクトリー支援事業） ・助成対象経費の4/5以内で、200万円を限度として助成する （2）社会参加活動やボランティア活動等を行う事業（地域活動支援事業） ・助成対象経費の4/5以内で、100万円を限度として助成する
対象者	○夢ファクトリー支援事業・・・中高年齢者（概ね50歳以上の者）で構成された10名以上のグループ ○地域活動支援事業・・・代表者を含む過半数が中高年齢者で構成された10名以上のグループ
成果等	H27年度実施分（H26年度申請分）として次のとおり申請した。 ○サロンむつみ（つづ健康マージャン教室）【地域】申請金額240,000円（申請どおり採択） ※【夢】：夢ファクトリー事業 【地域】：地域活動支援事業
備考	過去の助成実績（H17年度以降） H17 猪肉加工販売グループ「榎木の郷」【夢】 H18「松平村塾」たすけ愛の工房【夢】 H19 いきいき都クラブ【夢】 H20 シニア波積【夢】・市山郷土研究会【地域】 H21 いきいきいろは会【夢】・虹の家【地域】 H22 浅利農園【夢】・長良がんぼろう会【夢】 H23 有福温泉朝市の会【夢】 H24 鹿賀えいのう会【夢】・猪加工販売センター 榎木の郷【夢】 ※鹿賀えいのう会は事業実施が困難となったため助成金を返納した H25 長瀬農園【夢】・グリーン和井原【夢】・百笑倶楽部あすなろ【夢】・都野津親和会【地域】

2. 地域福祉を展開する地域づくり

(1) 地域福祉活動の体制づくり

事業名	①民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）【再掲】
事業名	②社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔地区支会活動助成（共同募金助成事業）〕
事業内容	小地域の誰もが安心して暮らせるよう、援助を要する人たちの把握と見守り、声かけを基本とした個別援助活動、ふれあいサロン、老人給食、子育てサロンなどの集団援助活動などを支援する。社協支会の活動資金面の支援は、江津市共同募金委員会と連携して同委員会から助成金交付を行う。
対象者	社協支会長及び地域福祉に関わるボランティア団体等住民全般にわたり対象としている。
成果等	○地域福祉活動の発展に資するために、支会長研修会（H26.8.25）を開催し、本会事業や行政サービス等について見識を深めた。 ○23地区社協活動により、地域福祉活動とネットワークの充実に貢献し、小地域の福祉の充実に大きな役割を果たしている。 ○社協地区支会に総額4,092,000円を助成金として交付した。
備考	
事業名	③市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）
事業内容	江津市内の敬老活動を支援する事業（敬老会開催の支援）で、一地区（支会）あたり10,000円を支援している。
対象者	市内の高齢者全般
成果等	市内23地区の敬老会開催経費の一部に充当された。
備考	

事業名	④しまね流自治会区福祉活動の推進
事業内容	<p>住民が自治会エリアにおいて主体的・組織的・計画的に取り組む福祉活動を支援するとともに、こうした活動を主導する地域人材の育成等を支援することにより、島根県ならではの地域資源や精神的豊かさを活かした新たな支え合いを推進することを目的として、次の事業を行う。</p> <p>(1) しまね流福祉のまちづくり推進事業「自治会区福祉活動支援事業」 しまね流自治会区福祉活動など地域の生活・福祉課題解決に向けた小地域福祉活動を実践する組織・団体等に対し、市町村社協をはじめ、福祉専門職など広く地域の関係者（団体）が活動支援組織を結成し、その取り組み支援等を行う。</p> <p>(2) 江津市地域福祉活動推進助成事業 自治会等が行う小地域での福祉活動推進のための活動に対して助成を行いその活動を支援する。（※同助成事業が対象とする活動の中で「しまね流自治会区福祉活動の推進」に相当する部分のみを抜粋）</p>
対象者	<p>(1) 市町村社協をはじめ地域の実情に応じて組織された活動支援組織</p> <p>(2) 自治会等の小地域福祉活動を行う組織</p>
成果等	<p>(1) しまね流福祉のまちづくり推進事業「自治会区福祉活動支援事業」 ○福祉委員制度の見直し検討について、本協議会へ 225,000 円助成。 福祉委員のあり方検討会を 2 回開催。 本市における福祉委員の現状を説明し、今後の福祉委員が、地域の情報を共有するため、見守り等の中から地域で困っている住民を民生委員児童委員や社協などに情報提供、相談する「つなぎ役」として担っていただけるよう、新たに提案を行った。公民館からコミュニティセンターへの移行の動向も踏まえながら、福祉委員の役割や体制について検討するため意見交換の中から、地域毎に、福祉委員の認識の違いや新たな提案を進める際、地域事情が異なるなどの課題が把握できた。このことを踏まえて、福祉委員の見直しについて継続して検討することになった。</p> <p>(2) 江津市地域福祉活動推進助成事業（「しまね流自治会区福祉活動の推進」に相当する部分のみ） ○5 組織（5 自治会区）に対し 163,000 円助成し、自治会区福祉活動の推進を支援した。</p>
備考	

事業名	⑤高齢者の生きがいと健康づくり推進事業						
事業内容	<p>○家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を通して、社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防する。</p> <p>(1) 定期的な訪問、声かけ運動 福祉ニーズの早期発見→福祉サービスの利用</p> <p>(2) ふれあいサロン 交流会・懇談会等、各支会（または各サロン）において月 1～2 回程度開催</p> <p>○小地域支援ネットワーク推進委員会代表者会の開催（事業のあり方等の検討）</p>						
対象者	<p>○概ね 65 歳以上の高齢者</p> <p>○実施者：小地域支援ネットワーク推進会（社協支会、民生委員、婦人会、健康づくり推進会、ボランティア等）</p>						
成果等	<p>○見守り活動による安心して暮らせるまちづくりの推進（生活課題の早期発見から適切な福祉サービスの利用へ）</p> <p>○住民同士が出会い、知り合うことで、多様な人間関係が生まれ、精神的・身体的に活性化（認知症予防・介護予防）</p> <p>○H26 年度ふれあいサロン実績</p> <table border="1" data-bbox="319 1926 1101 2016"> <tr> <td>実施回数</td> <td>348 回</td> <td>(前年度比 7 回減)</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>7,058 名</td> <td>(前年度比 80 名減)</td> </tr> </table>	実施回数	348 回	(前年度比 7 回減)	延べ参加者数	7,058 名	(前年度比 80 名減)
実施回数	348 回	(前年度比 7 回減)					
延べ参加者数	7,058 名	(前年度比 80 名減)					
備考	桜江地区については、市がさくらえいきいきワーカーの協力を得て直接実施している。						

事業名	⑥子育てサロン事業、子育てサロン広報活動事業（共同募金助成事業）				
事業内容	○地域を拠点に、当事者などの地域住民が出会い、多様な活動を通じて、子育てを楽しみ、仲間づくりができる環境を整備し、もって地域の子育て支援機能の充実を図る。地区のボランティア団体や民生児童委員の皆さんのボランティア活動により推進している。 ○市社協が実施する「子育てサロン」に関する情報（サロン開催日、会場案内等）を広報する。（チラシ等の作成・配布）				
対象者	江津市内乳幼児、家族等、小学校就学前の子供とその保護者等				
成果等	○平成26年度実績				
	サロン名	開催回数（前年度比）	大人	こども	合計（前年度比）
	あゆあゆ（市山）	11回	34名	36名	70名（1名増）
	あゆあゆ（谷住郷）	10回	25名	25名	50名（15名増）
	合計	21回	59名	61名	120名（16名増）
	○「子育てサロン」のチラシを作成して広報した 総件数12件（毎月1回）				
備考					

事業名	⑦福祉委員制度の見直し				
事業内容	地域の情報を共有するために、従来の福祉委員制度を見直し、住民と民生委員・児童委員のつなぎ役となるような体制づくりについて検討を行う。				
対象者	福祉委員（社協支会長、地域の自治会長等）関係者				
成果等	○福祉委員制度の現状や地域住民と協力しながら地域の見守り活動を通じて、ひきこもりや生活困窮状態にある人などをできるだけ早期に発見して、必要に応じて民生委員児童委員、社会福祉協議会等へつないでいただく新たな役割の提案などについて話し合うため、福祉委員のあり方検討会を開催した。 ①東部・桜江地域の福祉委員あり方検討会 ・開催日時 9月5日 13:30～ ・対象者 浅利、黒松、都治、波積、川平、松川、長谷、市山、川戸、谷住郷、川越の社協支会長、民児協支部長、連合自治会長、公民館長等 ②西部・中部地域の福祉委員あり方検討会 ・開催日時 3月6日 13:30～ ・対象者 有福、跡市、二宮、波子、敬川、都野津、和木、嘉久志、高浜、本町、金田、渡津の社協支会長、民児協支部長、連合自治会長、公民館長等 ○各地域によって、福祉委員に対する認識の違いや新たな提案を進める際、地域事情が異なるなどの課題が把握できた。				
備考					

2. 地域福祉を展開する地域づくり

(2) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり

事業名	①災害ボランティアセンターの体制整備																																			
事業内容	<p>災害時において、被災者が一日も早く元の生活に戻れるよう、関係諸機関との連携のもと、ボランティアの募集・調整・派遣など必要な支援を行う。</p> <p>また、平常時においては、災害時に効果的・効率的に災害ボランティア活動が行えるよう体制整備を行う</p>																																			
対象者	被災者、ボランティア、関係諸機関																																			
成果等	<p>○大雨災害寄付金配分事業</p> <p>平成25年8月の大雨災害後、江津市に寄せられた寄付金のうち1,653,790円を本会で受け入れ、災害ボランティア活動のために必要な施設整備や、各地区での備蓄品等の調達、被災地支援などを次のとおり行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">寄付金配分先</th> <th style="width: 20%;">配分金額</th> <th style="width: 50%;">使 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江津市社会福祉協議会 16支会 (配分希望支会数)</td> <td style="text-align: right;">1,045,450円</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・災害用物品購入 テント、保管庫、防災無線、照明器具、ヘルメット、マット、リヤカー、毛布、ブルーシート、担架、寝袋、スコップ、負ベルト、間仕切り段ボール、ラジオ等 </td> </tr> <tr> <td>江津市社会福祉協議会 本 部</td> <td style="text-align: right;">608,340円</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所分室修繕費 (災害物資の置き場等に使用の為) 549,871 ・広島市豪雨災害における職員派遣費用 (1名5日間分) 58,469 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,653,790円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成26年8月広島市豪雨災害支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安佐北区災害ボランティアセンターに職員1名を派遣し、センター運營業務の補助を行い災害復旧の支援を行った(派遣期間:9月23日~27日) ・ボランティアの募集 島根県社協・浜田市社協が運行するボランティアバスの周知を図り、ボランティア参加者を募った <p style="margin-left: 20px;"><参加状況></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 15%;">16(火)</th> <th style="width: 15%;">17(水)</th> <th style="width: 15%;">18(木)</th> <th style="width: 15%;">19(金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>うち江津</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td colspan="4">現地のボラ必要人数に達したため運行中止</td> </tr> </tbody> </table>				寄付金配分先	配分金額	使 途	江津市社会福祉協議会 16支会 (配分希望支会数)	1,045,450円	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用物品購入 テント、保管庫、防災無線、照明器具、ヘルメット、マット、リヤカー、毛布、ブルーシート、担架、寝袋、スコップ、負ベルト、間仕切り段ボール、ラジオ等 	江津市社会福祉協議会 本 部	608,340円	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所分室修繕費 (災害物資の置き場等に使用の為) 549,871 ・広島市豪雨災害における職員派遣費用 (1名5日間分) 58,469 	合 計	1,653,790円			16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	参加者	—	14	21	14	うち江津	—	2	0	2	備 考	現地のボラ必要人数に達したため運行中止			
寄付金配分先	配分金額	使 途																																		
江津市社会福祉協議会 16支会 (配分希望支会数)	1,045,450円	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用物品購入 テント、保管庫、防災無線、照明器具、ヘルメット、マット、リヤカー、毛布、ブルーシート、担架、寝袋、スコップ、負ベルト、間仕切り段ボール、ラジオ等 																																		
江津市社会福祉協議会 本 部	608,340円	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所分室修繕費 (災害物資の置き場等に使用の為) 549,871 ・広島市豪雨災害における職員派遣費用 (1名5日間分) 58,469 																																		
合 計	1,653,790円																																			
	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)																																
参加者	—	14	21	14																																
うち江津	—	2	0	2																																
備 考	現地のボラ必要人数に達したため運行中止																																			
備 考																																				

事業名	②災害ボランティアコーディネーターの育成・養成
事業内容	災害時にボランティアの受け入れや活動先の調整などが円滑に行われるよう、災害ボランティアコーディネーター養成研修会への参加により市民・職員資質の向上を図る。
対象者	住民全般・職員
成果等	<p>○災害ボランティアセンター運営研修会（島根県社協との共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年8月11日（月）10：00～16：00 ・会場 江津市総合市民センター2F会議室 ・参加者 56名（うち江津市民は20名） ・内容 活動報告Ⅰ「災害ボランティアセンター運営において市民が果たしたこと」 発表者 津和野町社協、江津市社協 活動報告Ⅱ「滋賀県高島市における市民参加型災害VC運営について」 発表者 高島市社協（滋賀県） 公開討議「市民参加型の災害VC体制を構築するために」 パネラー 江津市社協 津和野町社協 高島市社協 島根県社協 進行役 日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏 意見交換 <p>○災害ボランティアセンター運営サポーター養成講習会（島根県社協との共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年12月11日（木）10：00～17：00 ・会場 江津市総合市民センター2F会議室 ・参加者 市民21名 ・内容 講義Ⅰ「災害ボランティアセンター運営サポーターの役割とは」 講義Ⅱ「災害ボランティアセンターの設置・運営について」 演習「災害ボランティアセンターの設置・運営の実際」 まとめ「被災者・被災地中心の災害ボランティアセンター運営をめざして」 ・講師 日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏
備考	

事業名	③高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【再掲 2-(1)-⑥参照】
-----	-----------------------------------

事業名	④ひまわり大作戦事業
事業内容	被災地に笑顔が咲くようにと、被災地から被災地へと贈られた元気の種（ひまわりの種）を活用して笑顔が咲くまちづくり活動を推進する。
対象者	<p>次の条件を満たす団体・グループ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①笑顔が咲くまちづくり活動に活用すること ※特に、被災地域のまちづくりに関する活動には優先的に種を配布する ②活動の趣旨を住民へ伝えること ③被災地へ元気の種のバトンをつないでいくため、収穫した種の一部を江津市社会福祉協議会へ提供すること（収穫できなかった場合はこの限りではない） ④活動終了後、活動の様子がわかるもの（写真や活動をまとめた書類など）を提出すること
成果等	<p>次の4グループへひまわりの種を配分し、笑顔が咲くまちづくり活動に活用した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①虹の家・市山公民館 ②松平たすけ愛協議会・松平民児協 ③黒松支会 ④はらぺこファーム
備考	本会は2012年7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた熊本県阿蘇市の「阿蘇災害ボランティアベースZEN」より種を贈呈していただいた。

3. 地域福祉を支える体制づくり

(1) サービスの提供体制づくり

事業名	①放課後児童クラブ事業										
事業内容	桜江町地区内において、放課後家庭で保育することが困難な家庭の児童を預かり、児童の健全育成を目標とし、市からの受託事業として実施する。その他、地域住民、他の児童クラブとの交流、指導員研修、他クラブ指導員との連絡会等への参加する。										
対象者	桜江小学校児童（1年生～3年生まで） 32名が登録										
成果等	<p>○放課後に安全に過ごすだけでなく、学校の振替休日には、地域住民との交流を図るなど、児童の健全育成を行った。</p> <p>○指導員の質の向上（研修会への参加、他クラブ指導員との交流）</p> <p>○他児童クラブとの交流会を持つことにより、友情を深めるなどクラブの質の向上に努めた。</p> <p>○平成26年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>開設日数</td> <td>286日</td> <td>（前年度比2日増）</td> </tr> <tr> <td>平均出席者数</td> <td>19.2名</td> <td>（前年度比0.6名増）</td> </tr> <tr> <td>延べ出席者数</td> <td>5,489名</td> <td>（前年度比207名増）</td> </tr> </table>		開設日数	286日	（前年度比2日増）	平均出席者数	19.2名	（前年度比0.6名増）	延べ出席者数	5,489名	（前年度比207名増）
開設日数	286日	（前年度比2日増）									
平均出席者数	19.2名	（前年度比0.6名増）									
延べ出席者数	5,489名	（前年度比207名増）									
備考	実施場所は川戸生涯学習センター、7/22より桜江小学校内										

事業名	②子育てサロン事業、子育てサロン広報活動事業（共同募金助成事業）【再掲 2-(1)-⑦参照】
-----	--

事業名	③子どもの遊び場設置管理事業	
事業内容	市内の跡市児童遊園地外8箇所を各地区それぞれの支会が設置しており、その管理に伴う指導助言、施設賠償責任保険への加入事務等を行う。	
対象者	8箇所の児童遊園地（支会）	
成果等	地区の児童の身近な遊び場として活用されており、また、そこでの事故についての賠償責任に対応している。（損害保険料）	
備考	法人運営事業予算の中に組入	

事業名	④福祉バンク事業（福祉用具貸出事業）	
事業内容	<p>○在宅生活の支援を目的として電動ベッド、車椅子、床ずれ予防マット等の福祉用具を損傷料を徴して貸与する。特に介護保険など制度の対象とならない方々に対し重点的に貸し出す。</p> <p>○不用となった福祉用具を寄贈していただき、再利用している。</p>	
対象者	江津市民で在宅生活をされる高齢者、障がい児者、その他福祉用具を必要とされる方	
成果等	<p>○在宅で生活をされる高齢者、障がい児者のADL（日常生活動作）向上また、介護保険制度による福祉用具利用者の需用を補完する役割を担った。</p> <p>○H26年度総貸出件数 361件（前年度比54件増）</p>	
備考		

事業名	⑤高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【再掲 2-(1)-⑥参照】
-----	-----------------------------------

事業名	⑥生活支援まごころフレッシュサービス事業																							
事業内容	<p>○有償ボランティア派遣事業（生活支援まごころフレッシュサービス協力会員、利用会員、賛助会員募集）</p> <p>○住民同士の助けあいを基本として、日常生活支援、援助を必要とする人、子育て家族の就労支援体制を含めた負担を軽減するための会員方式の在宅福祉サービス。</p>																							
対象者	<p>○協力会員（江津市内在住でサービスの実務を担当する20歳以上の方）</p> <p>○利用会員（江津市内に在住し、日常生活に色々なサービスを必要とする方）</p> <p>○賛助会員（労力の提供は出来ないが、財源の協力のみ出来る方）</p>																							
成果等	<p>○平成26年度実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">会員数</td> <td>協力会員</td> <td style="text-align: right;">17名</td> <td style="text-align: right;">（前年度比3名減）</td> </tr> <tr> <td>利用会員</td> <td style="text-align: right;">335名</td> <td style="text-align: right;">（前年度比22名増）</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td style="text-align: right;">（前年度±0名）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">延べ利用件数</td> <td style="text-align: right;">335件</td> <td style="text-align: right;">（前年度比22件減）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">協力会員延べ活動人数</td> <td style="text-align: right;">1166名</td> <td style="text-align: right;">（前年度比179名増）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">協力会員延べ活動時間</td> <td style="text-align: right;">1969.5時間</td> <td style="text-align: right;">（前年度比75.5時間減）</td> </tr> </table> <p>○特に、ひとり暮らし高齢者の方が入院された折、洗濯等が出来ないため協力会員の支援で大変喜んでおられる。</p>		会員数	協力会員	17名	（前年度比3名減）	利用会員	335名	（前年度比22名増）	賛助会員	1名	（前年度±0名）	延べ利用件数		335件	（前年度比22件減）	協力会員延べ活動人数		1166名	（前年度比179名増）	協力会員延べ活動時間		1969.5時間	（前年度比75.5時間減）
会員数	協力会員	17名		（前年度比3名減）																				
	利用会員	335名		（前年度比22名増）																				
	賛助会員	1名	（前年度±0名）																					
延べ利用件数		335件	（前年度比22件減）																					
協力会員延べ活動人数		1166名	（前年度比179名増）																					
協力会員延べ活動時間		1969.5時間	（前年度比75.5時間減）																					
備考	一般的には、「有償ボランティア」と呼ばれてきたもので、現在は「住民参加型住民福祉サービス」と言われている。																							

事業名	⑦地域住民グループ支援事業	
事業内容	<p>○桜江地区において健康づくり教室、生きがいつくり教室の開催</p> <p>○ふれあいサロン活動への参加（指導・助言）</p>	
対象者	概ね65歳以上の方	
成果等	<p>○桜江地区で毎月健康づくり教室又は生きがいつくり教室を開催しており、各地区で開催することにより、高齢者の引きこもり予防や介護予防に貢献した。</p> <p style="padding-left: 20px;">・52回実施（前年度比2回減） ・参加者 720名（前年度比52名減）</p> <p>○各地区からの要請により、ふれあいサロンにおいてレクリエーション、ストレッチ等を指導し、介護予防に努めた。</p> <p style="padding-left: 20px;">桜江地区9回、旧江津市内11回 合計20回（前年度比4回増）</p> <p style="padding-left: 20px;">参加者 493名（145名増）</p>	
備考		

事業名	⑧江津和光園大学ふれあい教室の開催（共同募金助成事業）			
事業内容	○市内の高齢者を対象として、高齢者相互のふれあいと健康、社会知識、教養を高めるために、講座（教養、陶芸、時事、医療等）を開催する。 ○江津和光園大学運営審議委員会の開催（各講座の内容等について検討）			
対象者	高齢者（老人クラブ会員）等			
成果等	年間6回の講座を開催し、高齢者相互のふれあいと生涯学習に貢献			
	講座	開催日	内 容	受講者
	第1回	6/16	『こころの健康、からだの健康』	78名
	第2回	7/15	『陶芸実習』	45名
	第3回	10/17	『お達者落語会』	160名
	第4回	11/18	『高齢者が元気のうちに考えておくこと』 『体をほぐしましょう！』	61名
	第5回	1/21	『超高齢社会を生きる』	78名
	第6回	2/17	『野口雨情と石見路』	64名
	・延べ受講者数 486名（前年度比 19名増） ・修了者 60名（前年度比 6名増）			
備考	・修了者は4講座以上受講した人 ・第3回講座は桜江町（江津市コミュニティセンター）で開催			

事業名	⑨歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）			
事業内容	江津市ボランティアセンター登録のボランティア等が、年末に市内80歳以上のひとり暮らし高齢者、夫婦共80歳以上の高齢者に品物（餅、そば等）をもって声かけ訪問をする。			
対象者	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯並びに夫婦共80歳以上の高齢者のみの世帯			
成果等	○江津市ボランティアセンター登録会員のボランティア活動推進と対象者宅訪問により、健康確認（安否確認）に貢献した。 ○H26年度実績 (1)実施日 平成26年12月26日 (2)活動者 ボランティア・民生委員・支会長等 約110名 (3)配布先			
	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯	728世帯	（前年度比 7世帯減）	
	夫婦共80歳以上の高齢者のみの世帯	242世帯	（前年度比 18世帯増）	
	合 計	970世帯	（前年度比 11世帯増）	
備考				

事業名	⑩骨髄バンク基金事業			
事業内容	○血病等による骨髄移植の治療を受ける人に対して経費の軽減及び精神的援助を図るため見舞金支給を行う。（見舞金の額は一人1回限り100,000円） ○市民の目的を指定した寄付金であり、これを財源としている。 ○基金枠 1,830,000円			
対象者	重症再生不良性貧血 慢性骨髄性白血病 骨髄異型性症候群 急性白血病 先天性免疫不全症 先天性代謝異常症 その他非血縁者間骨髄移植ドナー検索基準に適合する症例 上記に該当し、骨髄移植の治療を受ける人			
成果等	平成26年度 申請0件（前年度比±0件）			
備考				

事業名	⑪福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）
事業内容	福祉関係団体の諸事業（例 社協支会が行うサロン事業 市内老人クラブの研修旅行、市内保育所の遠足行事等）を推進するためにマイクロバスを運行する事業。このことにより、地域福祉事業の幅を広げ、変化に富んだ事業の推進に寄与している。
対象者	福祉関係団体（福祉バス運行事業実施要項に基づく16団体）、その他会長の承認を得た団体
成果等	○平成26年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 113件（前年度比7件増） ・利用者数 延べ2,504名（前年度比195名減） ○福祉関係団体が行う福祉事業の支援 ○児童、高齢者、障がいのある人等幅広く地域福祉活動に利用され、その活性化に大いに役立てられた。
備考	・燃料代、有料道路通行料、有料駐車場代は利用者負担 ・土日祝祭日の運行は月2回以内で利用可能

事業名	⑫生活福祉資金貸付事業						
事業内容	収入が少ない世帯、あるいは障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で運営している貸付制度。 (1)実施主体 島根県社会福祉協議会 (2)限度額 35,000円～5,800,000円 (3)償還期間 8ヶ月～20年以内（資金の種類により異なる） (4)償還関係業務 長期滞納の場合、その理由等の確認（場合によっては県社協による現地督励会の開催も調整）						
対象者	○低所得世帯…資金の貸付により自立自活できると認められる世帯であって、資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯 ○障がい者世帯…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯 ○高齢者世帯…日常生活上療養又は介護を要する高齢者（65歳以上）の属する世帯						
成果等	○H26年度実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">新規貸付件数</td> <td style="width: 50%;">11件（前年度比5件減）</td> </tr> <tr> <td>新規貸付分の貸付元金</td> <td>8,913,600円（前年度比6,032,100円増）</td> </tr> <tr> <td>貸付件数（H27.3.31現在）</td> <td>90件（前年度比10件増）</td> </tr> </table> ○一時的な困窮状態からの自立支援に役立っている。 ○生活保護家庭における生活必需品購入、国民年金保険料後納制度により、生活保護世帯への貸付が増加している。また、教育支援資金など将来にわたっての貸付も増加傾向である。	新規貸付件数	11件（前年度比5件減）	新規貸付分の貸付元金	8,913,600円（前年度比6,032,100円増）	貸付件数（H27.3.31現在）	90件（前年度比10件増）
新規貸付件数	11件（前年度比5件減）						
新規貸付分の貸付元金	8,913,600円（前年度比6,032,100円増）						
貸付件数（H27.3.31現在）	90件（前年度比10件増）						
備考							

事業名	⑬民生基金貸付事業												
事業内容	○江津市内に居住する低所得者に対し、生活に緊急必要な一定の資金を一時的に貸し付け、自立生活を支援する。 ○資金の種類 生活資金生活を営むのに必要な経費、生業を営むのに必要な経費、 医療資金医療のために必要な経費、教科書代・修学旅行費に必要な経費、 家屋補修費家屋補修に必要な経費、高額療養費高額な医療費支払のために必要な経費 急迫状態にある生活困窮者等に対し、緊急かつ一時的に必要な経費 (1)償還期間 12 ヶ月以内 (高額療養費、緊急小口資金は概ね3 ヶ月以内) (2)利子は無利子 (3)償還関係業務：償還金の受入、滞納者への督促(場合によっては償還指導会の開催) (4)限度額 10,000～300,000 円												
対象者	江津市内に居住する低所得者 (連帯保証人1名必要、緊急小口資金は不要)												
成果等	○H26 年度実績 <table border="1"> <tr> <td>新規貸付件数</td> <td>6 件</td> <td>(前年度比 3 件増)</td> </tr> <tr> <td>新規貸付金額</td> <td>420,000 円</td> <td>(前年度比 147,000 円増)</td> </tr> <tr> <td>貸付中の件数 (H27. 3. 31 現在)</td> <td>20 件</td> <td>(前年度比 3 件増)</td> </tr> <tr> <td>償還残額 (H27. 3. 31 現在)</td> <td>1,838,000 円</td> <td>(前年度比 297,000 円増)</td> </tr> </table> ○緊急小口資金を新たに設け、急迫状態にある生活困窮者に対し、連帯保証人なしで貸付することで、早急な対応ができた。【緊急小口資金のH26 年度利用実績 2 件 20,000 円】	新規貸付件数	6 件	(前年度比 3 件増)	新規貸付金額	420,000 円	(前年度比 147,000 円増)	貸付中の件数 (H27. 3. 31 現在)	20 件	(前年度比 3 件増)	償還残額 (H27. 3. 31 現在)	1,838,000 円	(前年度比 297,000 円増)
新規貸付件数	6 件	(前年度比 3 件増)											
新規貸付金額	420,000 円	(前年度比 147,000 円増)											
貸付中の件数 (H27. 3. 31 現在)	20 件	(前年度比 3 件増)											
償還残額 (H27. 3. 31 現在)	1,838,000 円	(前年度比 297,000 円増)											
備考													

事業名	⑭生活困窮者自立支援サービスの検討・開発
事業内容	既存のセーフティネット施策での対応が困難な、真に急迫した生活困窮の状態に陥った方に対し、緊急のニーズに応える新たなサービスの検討・開発を行い、生活困窮者の自立支援につなげる。
対象者	真に窮迫状態の生活困窮者等
成果等	(1) 民生基金貸付事業による「緊急小口資金」の開発 民生基金貸付事業のなかに、急迫状態にある生活困窮者等に対する緊急かつ一時的に必要な経費 (上限 10,000 円以内) を、連帯保証人不要で即日貸付ができる資金制度。 【H26 年度利用実績 2 件 20,000 円】 (2) 緊急食糧支援事業 (フードバンク事業) の開発 住民や関係機関・団体などから提供された食料をフードバンクとして備蓄し、これを生活が窮迫状態となった者に対し、一人あたり原則 3 日 (1 日あたり最大 3 食分) 以内のアルファ米などの食糧を緊急提供することで、当該生活困窮者の自立と生活再建を図ることを目的にした制度。 【H26 年度利用実績 1 世帯 4 2 食】 (3) 入居債務保証支援事業の開発 賃貸住宅に入居する際の入居保証人が確保できない者について、本会が家主又は不動産業者と入居に関する債務保証契約を締結することにより、支援対象者の住宅の確保を支援し、地域生活への移行や生活再建の基盤を支えることを目的にした制度。 ①対象者は、次の各号いずれにも該当する者 (1) 本事業を利用して自立した日常生活を送ることが期待でき、本市内の賃貸住宅入居希望者。(2) 家賃等が継続して支払い可能にも関わらず、入居時の保証人確保ができないため賃貸住宅入居が困難な者。(3) 世帯収入が住民税非課税相当以下の者。 ②対象住宅は、本会と本事業に関する債務保証契約締結が可能である賃貸住宅。 ③保障対象・限度は、(1) 滞納家賃 (生活保護制度における住宅補助費の月額家賃上限額の 3 ヶ月分相当額)。(2) 残存家財処分費用を含む原状回復費用 (生活保護制度における住宅補助費の月額家賃上限額の 2 ヶ月分相当額) ④保証期間は、原則 2 年以内 (審査により更新可能) ⑤利用料は、15,000 円
備考	

3. 地域福祉を支える体制づくり

(2) 相談体制の充実

事業名	①ふれあい福祉センター総合相談事業																					
事業内容	<p>○市民の様々な心配ごと相談に応じ、問題の所在を明らかにした適切な解決を図り、安心した生活と福祉の向上に寄与する。</p> <p>(1)法律相談（弁護士）・・・毎月1回 法律に関することについて（相談時間：30分以内）</p> <p>(2)一般相談（司法書士、民生委員）・・・江津会場1回/月、桜江会場1回/2カ月 日常生活上のいろいろな心配ごと・悩みごとについて（相談時間：45分以内）</p> <p>(3)福祉相談（センター担当職員）・・・平日 福祉サービス・専門相談機関の紹介や、いろいろな心配ごと・悩みごとについて</p> <p>○ふれあい福祉センター運営委員会（相談事業のあり方について検討）</p>																					
対象者	一般市民（市外からも受け入れる場合がある）																					
成果等	<p>○平成26年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">法律相談 (12回)</td> <td>取扱件数</td> <td>74件 (前年度比 5件減)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>40名 (前年度比 8名減)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般相談 (8回)</td> <td>取扱件数</td> <td>26件 (前年度比 3件減)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>16名 (前年度比 7名減)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">福祉相談 (平日)</td> <td>取扱件数</td> <td>270件 (前年度比 42件減)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>235名 (前年度比 19名減)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>取扱件数</td> <td>370件 (前年度比 67件減)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>291名 (前年度比 34名減)</td> </tr> </table> <p>※一般相談は、10回分が予約なしのために中止となった ※各種専門の相談窓口が色々な機関に設置され、当相談窓口の利用が減少傾向にある。</p>		法律相談 (12回)	取扱件数	74件 (前年度比 5件減)	相談利用者数	40名 (前年度比 8名減)	一般相談 (8回)	取扱件数	26件 (前年度比 3件減)	相談利用者数	16名 (前年度比 7名減)	福祉相談 (平日)	取扱件数	270件 (前年度比 42件減)	相談利用者数	235名 (前年度比 19名減)	合計	取扱件数	370件 (前年度比 67件減)	相談利用者数	291名 (前年度比 34名減)
法律相談 (12回)	取扱件数	74件 (前年度比 5件減)																				
	相談利用者数	40名 (前年度比 8名減)																				
一般相談 (8回)	取扱件数	26件 (前年度比 3件減)																				
	相談利用者数	16名 (前年度比 7名減)																				
福祉相談 (平日)	取扱件数	270件 (前年度比 42件減)																				
	相談利用者数	235名 (前年度比 19名減)																				
合計	取扱件数	370件 (前年度比 67件減)																				
	相談利用者数	291名 (前年度比 34名減)																				
備考																						

3. 地域福祉を支える体制づくり

(3) 情報提供体制の充実

事業名	①広報紙の発行およびホームページの更新	
事業内容	<p>○広報紙の発行およびホームページにより、本会の業務及びサービスや福祉に関する情報を住民にわかりやすく提供する。</p> <p>○視覚に障がいのある方に対しては、広報紙を点訳・音訳して提供する。 ※点訳・音訳作業は、島根県西部視聴覚障害者情報センター（いわみーる内）を通じて、それぞれ「点訳ボランティア窓の会」「声のボランティアひびきの会」に無償でご協力いただいている。</p>	
対象者	一般市民、その他関連福祉団体等	
成果等	<p>○広報紙「ごうつ社協」発行 年5回（前年度比1回増）</p> <p>○ホームページの更新 年27回（前年度比3回減）</p>	
備考	<p>○義援金の募集について本会ホームページに掲載・周知した。</p> <p>○平成26年8月の広島市豪雨災害の際には被災者支援ボランティアバスの運行について本会ホームページに掲載・周知した。</p>	

事業名	②障がい者支援ボランティア養成事業【再掲 1-(2)-②参照】
-----	---------------------------------

3. 地域福祉を支える体制づくり

(4) 権利擁護の推進

事業名	①日常生活自立支援事業																	
事業内容	<p>○判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的として、それらの方が、地域で安心して自立した生活が送れるように、日常的なお手伝いを社会福祉協議会や生活支援員が行う。</p> <p>(1) 福祉サービスの利用援助 福祉サービスの利用に関する手続きや利用料を支払う手続きなど</p> <p>(2) 日常的金銭管理サービス 年金等の受領に必要な手続き、医療費・公共料金・日用品の代金の支払いなど</p> <p>(3) 書類等の預かりサービス 年金証書、預金通帳、契約書、実印、銀行印等の保管</p> <p>(4) 利用料・・・1,000円×利用時間+交通費（※ただし、生活保護世帯は無料）</p>																	
対象者	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等日常生活に不安があり、自己の能力で様々なサービスを適切に利用することが困難な方（療育手帳や精神障害者保健福祉手帳所持者、認知症の診断を受けている者に限らない）																	
成果等	<p>○H26年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>①年度当初の契約者数</td> <td>21件</td> <td>(前年度比6件増)</td> </tr> <tr> <td>②新規契約者数</td> <td>6件</td> <td>(前年度比±0件)</td> </tr> <tr> <td>③解約者数</td> <td>6件</td> <td>(前年度比6件増)</td> </tr> <tr> <td>(そのうち成年後見制度移行数)</td> <td>2件</td> <td>(前年度比2件増)</td> </tr> <tr> <td>④年度末時点の契約者数</td> <td>21件</td> <td>(前年度比±0件)</td> </tr> </table> <p>○適切な福祉サービスの利用、公共機関等への書類提出の支援、親族等からの金銭虐待の防止、公共料金等の支払い遅延の防止、無駄遣いの抑制など、利用者の権利擁護に寄与した。</p>			①年度当初の契約者数	21件	(前年度比6件増)	②新規契約者数	6件	(前年度比±0件)	③解約者数	6件	(前年度比6件増)	(そのうち成年後見制度移行数)	2件	(前年度比2件増)	④年度末時点の契約者数	21件	(前年度比±0件)
①年度当初の契約者数	21件	(前年度比6件増)																
②新規契約者数	6件	(前年度比±0件)																
③解約者数	6件	(前年度比6件増)																
(そのうち成年後見制度移行数)	2件	(前年度比2件増)																
④年度末時点の契約者数	21件	(前年度比±0件)																
備考	○H27.3.31現在の生活支援員数 18名（前年度比2名減）																	

事業名	②法人後見受任事業														
事業内容	<p>認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な者の判断力を補うため、本会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを推進する事業である。今後、日常生活自立支援事業利用者等においては、更なる判断能力等の低下により成年後見人等が必要な場合が増えてくることが考えられるが、成年後見人等の確保が困難なケースへの対応が十分に出来ていないのが現状である。そこで、地域で暮らす方々の権利を擁護していく上でのセーフティネットとして本会が受任するものである。</p>														
対象者	<p>江津市内に在住し、他に適切な後見人等が得られない者とするほか次の各号のいずれかの要件を満たす者</p> <p>①日常生活自立支援事業の利用者であって、その事業では対応が困難であると判断される事項に対応する必要が生じた場合</p> <p>②市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始の審判を申し立てた場合</p> <p>③その他、特別の事由により必要があると本会会長が認める者</p>														
成果等	<p>○平成26年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>年度当初の受任者数</td> <td>3件</td> <td>(前年度比1件減)</td> </tr> <tr> <td>新規受任者数</td> <td>3件</td> <td>(前年度比3件増)</td> </tr> <tr> <td>受任終了者数</td> <td>1件</td> <td>(前年度比増減無) 死去による</td> </tr> <tr> <td>年度末時点の受任者数</td> <td>5件</td> <td>(前年度比2件増) 後見4件、保佐1件</td> </tr> </table> <p>○被後見人等の金銭管理・身上監護を行い、その人らしい生活ができるよう支援した。</p> <p>○本事業などが適正に運営され、地域の権利擁護のあり方が検討できるよう、専門的な知識を有する者で構成する「権利擁護推進委員会」を立ち上げた。（委員会開催日H27.2.25）</p>			年度当初の受任者数	3件	(前年度比1件減)	新規受任者数	3件	(前年度比3件増)	受任終了者数	1件	(前年度比増減無) 死去による	年度末時点の受任者数	5件	(前年度比2件増) 後見4件、保佐1件
年度当初の受任者数	3件	(前年度比1件減)													
新規受任者数	3件	(前年度比3件増)													
受任終了者数	1件	(前年度比増減無) 死去による													
年度末時点の受任者数	5件	(前年度比2件増) 後見4件、保佐1件													
備考	平成19年7月1日から実施														

3. 地域福祉を支える体制づくり

(5) 地域における就労支援

事業名	①民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）【再掲 1-(2)-③参照】
-----	--

3. 地域福祉を支える体制づくり

(6) 地域福祉に関する基盤整備

事業名	①社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔地区支会活動助成（共同募金助成事業）〕【再掲 2-(1)-③参照】
-----	--

事業名	②民間助成事業の利用支援（しまねいきいきファンド事業の指導助言）【再掲 1-(2)-③参照】
-----	--

事業名	③社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）	
事業内容	地域福祉団体の活動が円満に進み、地域福祉の充実が図られるよう、香典返しを原資とした基金から毎年関係団体に助成している。なお、この交付団体の選定にあたっては、「社会福祉活動基金委員会」の議を経て交付する。	
対象者	市内の福祉関係団体	
成果等	○H26年度助成実績【11団体、総額1,750,000円】	
	① 江津市社会福祉協議会	1,000,000円
	② 江津市民生児童委員協議会	300,000円
	③ 江津市老人クラブ連合会	100,000円
	④ 江津市連合婦人会	90,000円
	⑤ 江津市母子会連合会	30,000円
	⑥ ふれあい農業体験塾	50,000円
	⑦ 浜田地区保護司会江津分区	90,000円
	⑧ 江津市更生保護女性会	20,000円
	⑨ 江津東地区民生児童委員協議会波積支部	10,000円
	⑩ 親子いこいのひろば	30,000円
	⑪ 新勇会	30,000円
備考		

事業名	④江津駅前公共公益複合施設への事務所移転についての検討	
事業内容	江津駅前地区再生整備にかかる「公共公益複合施設」への社協事務所の移転について、将来の江津市社会福祉協議会の発展を期する観点から諸般の検討を行う。	
対象者	社協役職員等	
成果等	○将来、本協議会が新規に取り組む予定の生活支援相談センターや、ボランティアセンターの機能充実等など、事業が推進できるよう、新たな事務所等（現在、江津駅前公共公益複合施設を予定）の確保について、市行政、関係団体との協議、要望を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月23日 江津市社会福祉課から江津駅前公共複合施設的设计図面案が提示された。 ・ 7月11日 江津市社会福祉課と江津駅前公共複合施設の新事務所のレイアウト等における要望等について協議を行った。 ・ 7月25日 江津市社会福祉課、都市計画課と江津駅前公共複合施設の新事務所のレイアウト等要望について最終協議を行った。 	
備考		

事業名	⑤本市社協の体制づくり
事業内容	地域福祉を担う「人づくり」「地域づくり」「体制づくり」を効果的推進の一環として、事務局体制の強化と職員の能力開発、人材の育成及び事務局の活性化を図るため研修や、職員勉強会を実施する。
対象者	本協議会の事務局職員
成果等	○職員勉強会(連絡会)を開催し、職員間の意見交換・情報共有の場を図った。 ・ 8月28日 主に「日常生活自立支援事業」について ・ 3月25日 主に「生活困窮者自立支援事業」について
備考	

事業名	⑥法人運営事業
事業内容	社会福祉協議会は、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指し、絶えず、その方法について協議し、それを踏まえて活動するため、地域のあらゆる各種住民団体や公私の社会福祉事業関係者等をもって組織されている。このため、これらの福祉関係者のための円滑な活動を支援するためのその会議等の旅費、交通費、また職員自ら地域福祉に従事するための人件費、事務所の諸経費等がこれの主なもの、法人の管理に必要とする事業の経費である。
対象者	一般市民、江津市民生児童委員協議会、江津市老人クラブ連合会、日赤島根県支部江津市地区、島根県共同募金会江津市共同募金委員会、その他関連福祉団体
成果等	○主な収入財源の内訳 会費収入 8,816,175 円 (前年度 8,843,850 円 前年度比 0.3%減) 会員世帯数 8,817 世帯 社協広報紙配布世帯に対する会員割合 8,817 世帯 / 10,071 世帯 = 87.54% 江津市補助金 27,689,680 円 (人件費 7 名分、子供の遊び場事業費等) 寄付金 6,582,575 円 (香典返し寄付金等) ○主な事業 (1) 各種会議 (正副会長会 2 回、理事会 4 回、評議員会 3 回、監査会 1 回) (2) 各種委員会 17 回 (3) 社協広報紙発行費 (5 回)、福祉バス運行費の一部、事務局維持費 (4) 江津市社会福祉協議会業務 (決算額 42,435,531 円) (5) 事務局受託団体の事業を支援 ①江津市民生児童委員協議会支援業務 (決算額 4,439,969 円) ②江津市老人クラブ連合会支援業務 (決算額 2,277,599 円) ③江津市共同募金委員会業務全般 (決算額 10,040,401 円) ④日赤島根県支部江津市地区業務全般 (決算額 6,806,593 円) (6) その他関連福祉団体等の円滑な福祉活動の支援
備考	

事業名	⑦研修会等への参加																																																																							
事業内容	各種研修会等へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図る。																																																																							
対象者	社協役職員																																																																							
成果等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>研修会名称【出席者】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5. 19</td> <td>島根県同和教育推進協議会連合会第106回研究集会【役員5名(黒川、小笠原、吉田、藤井、船津)、事務局5名(浅田、杉本、焼杉、川上、佐々木)】</td> </tr> <tr> <td>6. 6</td> <td>日常生活自立支援事業専門員研修会【澤田専門員】</td> </tr> <tr> <td>6. 9</td> <td>社会福祉法人指導監査説明会・実務研修会【杉本課長、岩崎主任】</td> </tr> <tr> <td>6. 27</td> <td>第1回浜田圏域障がい者就労支援ネットワーク研修会【焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>7. 7</td> <td>島根県市町村社協会長会役員会・総会・研修会【黒川会長】</td> </tr> <tr> <td>7. 16</td> <td>第1回島根県生活困窮者自立支援ネットワーク会議【黒川会長、焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>7.24~25</td> <td>日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ【澤田専門員】</td> </tr> <tr> <td>8. 1</td> <td>生活困窮者自立支援事業に関する社協役職員等研修会【役員9名(黒川、小笠原、石田、梶川、松本、田儀、藤井、田中、中木)、事務局3名(浅田、焼杉、岩崎)】</td> </tr> <tr> <td>8. 11</td> <td>災害ボランティアセンター運営研修会【役員7名(黒川、吉田、梶川、田儀、大谷、石田、中木)、事務局4名(浅田、焼杉、岩崎、佐々木)】</td> </tr> <tr> <td>9. 2</td> <td>施設・社協・地域の連携による「地域共生型福祉のまちづくり」推進研究会【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>9.9~10</td> <td>中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会【澤田専門員】</td> </tr> <tr> <td>9.18~19</td> <td>中国・四国都市社協連絡協議会第52期総会及び研修会【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>10. 3</td> <td>生活困窮者自立支援制度市町村担当者会議【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>10. 9</td> <td>日常生活自立支援事業生活支援員・専門員研修会【澤田専門員】</td> </tr> <tr> <td>10. 20</td> <td>生活困窮者自立支援制度推進研修会【浅田事務局長、焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>10. 22</td> <td>罪を犯した人に対する利用支援協力事業所連絡会議専門研修会【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>11. 21</td> <td>権利擁護セミナー【焼杉課長補佐、澤田専門員】</td> </tr> <tr> <td>11. 25</td> <td>福祉の支援が必要な矯正施設を出所した高齢・障がい者の地域生活定着推進セミナー【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>11. 27</td> <td>施設・社協・地域の連携による「地域共生型福祉のまちづくり」推進セミナー【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>11. 28</td> <td>企業の社会貢献を考えるフォーラム【黒川会長】</td> </tr> <tr> <td>12. 11</td> <td>災害ボランティアセンター運営研修会【黒川会長、浅田事務局長、焼杉課長補佐、岩崎主任、佐々木】</td> </tr> <tr> <td>1.14~15</td> <td>市町村社協会長会研修会・市町村社協事務局長セミナー【黒川会長、浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>1.23~24</td> <td>見守り活動全国研究サミット in 周南【焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>1. 28</td> <td>人権研修(理事会において実施)【役員14名(黒川、吉田、内田、瀬頭、松本、森脇、梶川、田儀、盆子原、藤井、大谷、武本、田中、中木)、事務局3名(浅田、焼杉、岩崎)】</td> </tr> <tr> <td>2. 4</td> <td>社会福祉法人役員セミナー【黒川会長、小笠原副会長、盆子原理事】</td> </tr> <tr> <td>2. 5</td> <td>第2回島根県生活困窮者自立支援ネットワーク会議【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>2. 7</td> <td>福祉関係者のための成年後見制度研修会【澤田専門員】</td> </tr> <tr> <td>2.9~10</td> <td>生活困窮者自立相談支援機関従事者研修【浅田事務局長、焼杉課長補佐、久保田、二又】</td> </tr> <tr> <td>2. 18</td> <td>家計相談支援事業事例検討会【焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>2. 25</td> <td>社会福祉法人監事研修会【中木監事】</td> </tr> <tr> <td>2. 27</td> <td>しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク研修会【浅田事務局長】</td> </tr> <tr> <td>3. 3</td> <td>“しまね流”生活支援サービス推進フォーラム【焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>3. 8</td> <td>浜田圏域自立支援協議会権利擁護セミナー「地域で暮らす」【黒川会長、焼杉課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>3. 19</td> <td>自治会区等小地域福祉活動推進リーダー研修【浅田事務局長、焼杉課長補佐】</td> </tr> </tbody> </table>		月日	研修会名称【出席者】	5. 19	島根県同和教育推進協議会連合会第106回研究集会【役員5名(黒川、小笠原、吉田、藤井、船津)、事務局5名(浅田、杉本、焼杉、川上、佐々木)】	6. 6	日常生活自立支援事業専門員研修会【澤田専門員】	6. 9	社会福祉法人指導監査説明会・実務研修会【杉本課長、岩崎主任】	6. 27	第1回浜田圏域障がい者就労支援ネットワーク研修会【焼杉課長補佐】	7. 7	島根県市町村社協会長会役員会・総会・研修会【黒川会長】	7. 16	第1回島根県生活困窮者自立支援ネットワーク会議【黒川会長、焼杉課長補佐】	7.24~25	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ【澤田専門員】	8. 1	生活困窮者自立支援事業に関する社協役職員等研修会【役員9名(黒川、小笠原、石田、梶川、松本、田儀、藤井、田中、中木)、事務局3名(浅田、焼杉、岩崎)】	8. 11	災害ボランティアセンター運営研修会【役員7名(黒川、吉田、梶川、田儀、大谷、石田、中木)、事務局4名(浅田、焼杉、岩崎、佐々木)】	9. 2	施設・社協・地域の連携による「地域共生型福祉のまちづくり」推進研究会【浅田事務局長】	9.9~10	中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会【澤田専門員】	9.18~19	中国・四国都市社協連絡協議会第52期総会及び研修会【浅田事務局長】	10. 3	生活困窮者自立支援制度市町村担当者会議【浅田事務局長】	10. 9	日常生活自立支援事業生活支援員・専門員研修会【澤田専門員】	10. 20	生活困窮者自立支援制度推進研修会【浅田事務局長、焼杉課長補佐】	10. 22	罪を犯した人に対する利用支援協力事業所連絡会議専門研修会【浅田事務局長】	11. 21	権利擁護セミナー【焼杉課長補佐、澤田専門員】	11. 25	福祉の支援が必要な矯正施設を出所した高齢・障がい者の地域生活定着推進セミナー【浅田事務局長】	11. 27	施設・社協・地域の連携による「地域共生型福祉のまちづくり」推進セミナー【浅田事務局長】	11. 28	企業の社会貢献を考えるフォーラム【黒川会長】	12. 11	災害ボランティアセンター運営研修会【黒川会長、浅田事務局長、焼杉課長補佐、岩崎主任、佐々木】	1.14~15	市町村社協会長会研修会・市町村社協事務局長セミナー【黒川会長、浅田事務局長】	1.23~24	見守り活動全国研究サミット in 周南【焼杉課長補佐】	1. 28	人権研修(理事会において実施)【役員14名(黒川、吉田、内田、瀬頭、松本、森脇、梶川、田儀、盆子原、藤井、大谷、武本、田中、中木)、事務局3名(浅田、焼杉、岩崎)】	2. 4	社会福祉法人役員セミナー【黒川会長、小笠原副会長、盆子原理事】	2. 5	第2回島根県生活困窮者自立支援ネットワーク会議【浅田事務局長】	2. 7	福祉関係者のための成年後見制度研修会【澤田専門員】	2.9~10	生活困窮者自立相談支援機関従事者研修【浅田事務局長、焼杉課長補佐、久保田、二又】	2. 18	家計相談支援事業事例検討会【焼杉課長補佐】	2. 25	社会福祉法人監事研修会【中木監事】	2. 27	しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク研修会【浅田事務局長】	3. 3	“しまね流”生活支援サービス推進フォーラム【焼杉課長補佐】	3. 8	浜田圏域自立支援協議会権利擁護セミナー「地域で暮らす」【黒川会長、焼杉課長補佐】	3. 19	自治会区等小地域福祉活動推進リーダー研修【浅田事務局長、焼杉課長補佐】
月日	研修会名称【出席者】																																																																							
5. 19	島根県同和教育推進協議会連合会第106回研究集会【役員5名(黒川、小笠原、吉田、藤井、船津)、事務局5名(浅田、杉本、焼杉、川上、佐々木)】																																																																							
6. 6	日常生活自立支援事業専門員研修会【澤田専門員】																																																																							
6. 9	社会福祉法人指導監査説明会・実務研修会【杉本課長、岩崎主任】																																																																							
6. 27	第1回浜田圏域障がい者就労支援ネットワーク研修会【焼杉課長補佐】																																																																							
7. 7	島根県市町村社協会長会役員会・総会・研修会【黒川会長】																																																																							
7. 16	第1回島根県生活困窮者自立支援ネットワーク会議【黒川会長、焼杉課長補佐】																																																																							
7.24~25	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ【澤田専門員】																																																																							
8. 1	生活困窮者自立支援事業に関する社協役職員等研修会【役員9名(黒川、小笠原、石田、梶川、松本、田儀、藤井、田中、中木)、事務局3名(浅田、焼杉、岩崎)】																																																																							
8. 11	災害ボランティアセンター運営研修会【役員7名(黒川、吉田、梶川、田儀、大谷、石田、中木)、事務局4名(浅田、焼杉、岩崎、佐々木)】																																																																							
9. 2	施設・社協・地域の連携による「地域共生型福祉のまちづくり」推進研究会【浅田事務局長】																																																																							
9.9~10	中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会【澤田専門員】																																																																							
9.18~19	中国・四国都市社協連絡協議会第52期総会及び研修会【浅田事務局長】																																																																							
10. 3	生活困窮者自立支援制度市町村担当者会議【浅田事務局長】																																																																							
10. 9	日常生活自立支援事業生活支援員・専門員研修会【澤田専門員】																																																																							
10. 20	生活困窮者自立支援制度推進研修会【浅田事務局長、焼杉課長補佐】																																																																							
10. 22	罪を犯した人に対する利用支援協力事業所連絡会議専門研修会【浅田事務局長】																																																																							
11. 21	権利擁護セミナー【焼杉課長補佐、澤田専門員】																																																																							
11. 25	福祉の支援が必要な矯正施設を出所した高齢・障がい者の地域生活定着推進セミナー【浅田事務局長】																																																																							
11. 27	施設・社協・地域の連携による「地域共生型福祉のまちづくり」推進セミナー【浅田事務局長】																																																																							
11. 28	企業の社会貢献を考えるフォーラム【黒川会長】																																																																							
12. 11	災害ボランティアセンター運営研修会【黒川会長、浅田事務局長、焼杉課長補佐、岩崎主任、佐々木】																																																																							
1.14~15	市町村社協会長会研修会・市町村社協事務局長セミナー【黒川会長、浅田事務局長】																																																																							
1.23~24	見守り活動全国研究サミット in 周南【焼杉課長補佐】																																																																							
1. 28	人権研修(理事会において実施)【役員14名(黒川、吉田、内田、瀬頭、松本、森脇、梶川、田儀、盆子原、藤井、大谷、武本、田中、中木)、事務局3名(浅田、焼杉、岩崎)】																																																																							
2. 4	社会福祉法人役員セミナー【黒川会長、小笠原副会長、盆子原理事】																																																																							
2. 5	第2回島根県生活困窮者自立支援ネットワーク会議【浅田事務局長】																																																																							
2. 7	福祉関係者のための成年後見制度研修会【澤田専門員】																																																																							
2.9~10	生活困窮者自立相談支援機関従事者研修【浅田事務局長、焼杉課長補佐、久保田、二又】																																																																							
2. 18	家計相談支援事業事例検討会【焼杉課長補佐】																																																																							
2. 25	社会福祉法人監事研修会【中木監事】																																																																							
2. 27	しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク研修会【浅田事務局長】																																																																							
3. 3	“しまね流”生活支援サービス推進フォーラム【焼杉課長補佐】																																																																							
3. 8	浜田圏域自立支援協議会権利擁護セミナー「地域で暮らす」【黒川会長、焼杉課長補佐】																																																																							
3. 19	自治会区等小地域福祉活動推進リーダー研修【浅田事務局長、焼杉課長補佐】																																																																							
備考																																																																								

3. 地域福祉を支える体制づくり

(7) 団体事務の受託

事業名	①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）
事業内容	江津市民生児童委員協議会事務事業を全面的にバックアップし、その事業の円滑な推進を図る。 (1)協議会事業計画、予算、決算、会計事務等の受託 (平成27年度予算額 4,898,000円) (2)各種会議の開催（理事会、単位民児協会長・部会長会、正副会長会、総会、部会等） 平成26年度 9回開催 (3)各種研修会の開催（夏期研修会、支部研修会） (4)各種福祉事業への協力（主催・共催） (5)江津市民児協以外が開催する各種会議・研修会への参加調整 (6)各民生委員児童委員への情報提供 (7)各民生委員児童委員への活動助言 (8)互助事業
対象者	民生委員児童委員 110名
成果等	○民生委員児童委員の資質向上 → 地域住民の生活改善 ○各民生委員児童委員の負担軽減 ○民児協の多端な事務一切を処理し、その活動の充実化を支援した。 ○平成26年度決算額 4,439,969円
備考	

事業名	②江津市老人クラブ連合会（団体事務の受託）
事業内容	社会福祉協議会にとって、最も身近な高齢者の自主的地域組織であるため、その活動を全面的にバックアップし、円滑な推進を図る。 (1)理事会、評議員会、部会、各種委員会の開催 (2)各種事業の企画立案と実施 (3)予算、決算会計事務
対象者	(H26.10.1現在) 単位老人クラブ数（休会クラブを除く） 32クラブ（前年度同時期比 2クラブ減） 会員数（休会クラブの会員数を除く） 1,322人（前年度同時期比 80名減）
成果等	次のような老連事業の円滑な運営に尽力した。 ○理事会、評議員会、部会、委員会等の開催（10回） ○交流研修会 ○演芸大会 ○機関誌「和光」の発行 ○体力測定会 ○総合交流スポーツ大会 ○江津市総合社会福祉大会（社協・民児協との共催） ○市長への要望活動 ○各種研修会への参加 ○友愛訪問活動 ○奉仕活動（全国一斉社会奉仕の日） ○県内一斉健康ウォーキング ○いきいき福祉スポーツ大会 ○お達者手帳の普及 ○グラウンドゴルフ大会 ○グリーンモールふれあいカードの老人クラブ会員登録 ○県老連等が開催する研修会への参加
備考	

事業名	③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）
事業内容	共同募金委員会諸活動をするための窓口業務等を行っている。募金は県共同募金会へ送金されるが、翌年度その約7割程度が社協をはじめとする市内の福祉団体等に助成され、地域福祉推進の主要な財源となっている。 (1) 共同募金助成計画の立案 (2) 共同募金の推進 (3) 収入・支出等の会計事務 (4) 県共募との連携・調整
対象者	江津市民、事業者
成果等	○各地区での戸別募金、街頭募金、法人募金、イベント募金、職域募金等を実施 ○平成26年度実績額（一般募金）9,623,401円（前年度比38,606円増） ○平成26年度江津市域対象事業助成額 7,370,795円（老人給食サービス事業等51事業に助成） ○法人募金活動については、新規協力事業所の開拓を行い、実績額増となった。
備考	[参考] ・江津市地域対象事業数51の内訳（市社協8、市共募[公募]10、社協各支会23、その他団体10）

事業名	④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託）
事業内容	○赤十字諸活動をするための窓口業務等で概ね次のような活動を行っている。 (1) 社資募集 (2) 救急法等赤十字各種講習 (3) 災害見舞金品の贈呈等 (4) 収入支出等会計事務一般 (5) 日赤県支部との連絡調整 (6) 赤十字思想普及キャンペーン (7) 災害義援金の受付 ○大災害時の救援活動のみでなく、平素の小災害救援、救急法や幼児安全法等の講習を行う等、身近なところでの活動も多い。
対象者	赤十字社員（江津市民全般）
成果等	○社資の募集を中心に事務局として、赤十字諸活動の末端事業を受持っている。 ○平成26年度社資納入実績額 6,038,927円（前年度比48,639円増）※募集目安額700円/世帯 ○平成26年度災害（火災）見舞金品贈呈件数2件（前年度比±0件） ○江津市内での災害非常食炊出し研修への参画・助成 2件（前年度比±0件） ○赤十字運動月間統一広報キャンペーンの実施 ・日 時 平成26年5月9日（土）10:45～13:30 ・会 場 グリーンモール3階催事場 ・内 容 救急法体験コーナー、災害非常食炊出し実演コーナー、赤十字クイズ他 ・体験者数 延べ325名
備考	[役員] 江津市地区長・・・江津市長 副地区長・・・・・・江津市副市長、江津市社協会長 幹 事・・・・・・江津市健康福祉部社会福祉課長補佐、江津市社協事務局長